

株式会社前川製作所 守谷工場



緑化概要

前川製作所のマザー工場である守谷工場は、自然冷媒を使用した産業用冷凍機や食品工場向けの機械を主に製造している。敷地内に春の桜や初夏のつつじをはじめとした四季折々の草木を配置し、整備された多目的グラウンドと併せて従業員や地域住民の憩いの場になっている。太陽光発電を多く設置することで、カーボンニュートラルを推進。環境に配慮した持続可能なモノづくりを実現している。(写真：工場正門の桜)

工場所在地	〒300-0118 茨城県守谷市立沢2000					
工場代表者	工場長 後川 浩					
担当窓口	業務部門					
工場の操業開始年月	1970年1月	主たる業種名 (主要製品名)		はん用機械器具製造業 (圧縮機、冷凍機)		
工場の敷地面積	207,745 m ²	建築面積		50,544 m ²		
周囲の状況	用途地域：工業専用地域		周辺土地利用：商・住・工・農の混在地区			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	25%	緑地以外の環境施設	10%	合計	35%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	4%	整形型樹群・樹林	10%	単木・列状植栽地	9%
	地被植物	49%	花壇		その他	
	緑地合計	72%	緑地以外の環境施設	28%	緑地等の総面積	73,542 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	27%	作業棟周辺	9%	その他	

第一三共株式会社 館林工場



緑化概要

第一三共株式会社館林工場は、創業当時から「武蔵野の風景」をコンセプトとして、自然豊かな緑地の維持に努めている。工場敷地内には絶滅危惧種のキンランが生息しており、従業員による生息環境の維持活動や地域清掃活動への協力も行っている。また、「第一三共なかさと公園」のネーミングライツパートナー活動を通し、地域住民の皆様とともに緑豊かな環境づくりにも取り組んでいる。(写真：シンボルツリーと1号館)

工場所在地	〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩字くらかけ2716-1					
工場代表者	館林工場長 川辺 弘樹					
担当窓口	管理部スタッフG					
工場の操業開始年月	1988年5月	主たる業種名 (主要製品名)		化学工業 (医薬品)		
工場の敷地面積	101,709 m ²	建築面積		17,230 m ²		
周囲の状況	用途地域：工業地域 周辺土地利用：工業団地、農地					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	45%	緑地以外の環境施設	2%	合計	47%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	39%	整形型樹群・樹林	7%	単木・列状植栽地	3%
	地被植物	44%	花壇		その他	3%
	緑地合計	95%	緑地以外の環境施設	5%	緑地等の総面積	48,176 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	22%	作業棟周辺		その他	

キヤノン株式会社 下丸子本社



緑化概要

キヤノン下丸子本社では『共生』という企業理念のもと地域社会との共生や生物多様性保全を目的に、緑豊かな『下丸子の森』を構内で育ててきた。下丸子の森では巣箱やバードバス、赤い実のなる木の管理など野鳥が飛来しやすい環境を整えることで、野鳥の貴重な生息の場となっており、また環境省が実施する「自然共生サイト」にも認定されている。（写真：緑に囲まれた本社棟）

工場所在地	〒146-8501 東京都大田区下丸子三丁目30番2号					
工場代表者	代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫					
担当窓口	下丸子施設環境管理課					
工場の操業開始年月	1937年8月	主たる業種名（主要製品名）	情報通信機械器具製造業（デジタルカメラ・プリンター）			
工場の敷地面積	109,472 m ²	建築面積	33,871 m ²			
周囲の状況	用途地域：工業地域 周辺土地利用：商・住・工混在地区					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	29%	緑地以外の環境施設	合計	29%	
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	34%	整形型樹群・樹林	17%	単木・列状植栽地	4%
	地被植物	43%	花壇		その他	
	緑地合計	99%	緑地以外の環境施設	1%	緑地等の総面積	31,641 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	21%	作業棟周辺	8%	その他	

株式会社アイエイアイ 富士宮工場



緑化概要

株式会社アイエイアイ富士宮工場は、工場敷地が約2.3ha、その周囲には約60haの森林・緑地を有する。森林には広葉樹を改植し、遊歩道も整備している。また、水田や畑もあり、社員が耕作を行いながら緑地環境を維持している。ピオトープでは、モリアオガエルなどの希少動植物の保護増殖や、従業員とその家族、地域の小学生等を対象に環境学習会を実施し、自然に触れ、自然の中で楽しむことができる場となっている。
(写真：上空から工場を望む)

工場所在地	〒419-0317 静岡県富士宮市内房1700					
工場代表者	工場長 荻原 亮彦					
担当窓口	総務課					
工場の操業開始年月	2014年1月	主たる業種名 (主要製品名)		生産用機械器具製造業 (産業用小型ロボット)		
工場の敷地面積	23,558 m ²	建築面積		6,902 m ²		
周囲の状況	用途地域：市街化調整区域		周辺土地利用：森林・林地			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	48%	緑地以外の環境施設	合計		48%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	73%	整形型樹群・樹林	単木・列状植栽地		4%
	地被植物	23%	花壇	その他		
	緑地合計	100%	緑地以外の環境施設	緑地等の総面積		11,307 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	48%	作業棟周辺	その他		

株式会社明電舎 沼津事業所



緑化概要

明電舎沼津事業所は、1961年の開設以来、緑豊かな事業所を目指して緑化活動を行っている。開設当初は地域の皆様からいただいたクロマツやツツジ、サザンカ、アジサイなどの植栽を行い、その後も建屋周囲に樹木を整備することで、現在では事業所が樹木に囲まれ、自然と調和した環境を実現している。さらにピオトープを整備し、地域の生き物の活動拠点となるよう努めている。(写真：明電舎沼津事業所本館)

工場所在地	〒410-8588 静岡県沼津市東間門字上中溝515					
工場代表者	沼津事業所長 西山 充彦					
担当窓口	沼津事業所 安全衛生課					
工場の操業開始年月	1961年4月	主たる業種名 (主要製品名)		電気機器 (変圧器、開閉器、配電盤)		
工場の敷地面積	350,340 m ²	建築面積		147,257 m ²		
周囲の状況	用途地域：工業専用地域		周辺土地利用：工場地区、商・住・工混在地区			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	17%	緑地以外の 環境施設	5%	合計	23%
緑地等の種別面積割合	自然型 樹群・樹林	23%	整形型 樹群・樹林	33%	単木・列状 植栽地	1%未満
	地被植物	21%	花壇	1%未満	その他	
	緑地合計	77%	緑地以外の 環境施設	23%	緑地等の 総面積	79,331 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界 沿い	9%	作業棟周辺	7%	その他	7%

早川ゴム株式会社 本社・箕島工場



緑化概要

早川ゴム 本社・箕島工場は1990年の工場操業より計画的な緑化活動に取り組んでおり、構内道路、敷地面、本社棟花壇等に桜、ツツジ、バラを始めとして多数の植栽を実施している。桜は敷地内に135本を配置しており、工場正門からの桜並木は春の満開時は非常に美しく咲き誇り来社される方々にも好評を得ている。毎年4月の入社式では桜の苗木1本を記念として植樹している。社員による定期的な落ち葉の清掃や樹木医の助言を受け維持管理を行い、環境保全に取り組んでいる。(写真：上空からの本社・箕島工場全景)

工場所在地	〒721-8540 広島県福山市箕島町南丘5351番地					
工場代表者	代表取締役社長 小川 浩司					
担当窓口	環境管理室					
工場の操業開始年月	1990年4月	主たる業種名 (主要製品名)		ゴム製品製造業 (サンタック)		
工場の敷地面積	129,118 m ²	建築面積		22,511 m ²		
周囲の状況	用途地域：工業専用地域		周辺土地利用：工場地区			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	32%	緑地以外の環境施設	6%	合計	39%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	42%	整形型樹群・樹林		単木・列状植栽地	35%
	地被植物	7%	花壇	1%未満	その他	
	緑地合計	84%	緑地以外の環境施設	16%	緑地等の総面積	50,005 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	31%	作業棟周辺	8%	その他	

株式会社泉製作所 徳島本部 鳴門北工場



緑化概要

2001年に開設した「鳴門北工場」は、開設当時より環境に配慮し、地域社会と共生出来る21世紀型の工場をコンセプトとし、太陽光発電設備の設置、工場内照明のLED化した工場としている。そして敷地内の緑地にもこだわり管理業者のご協力も得ながら地域環境に同化し、そこで働く従業員の心とむような緑地を目指して活動をしている。（写真：工場玄関前の緑地）

工場所在地	〒771 0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島112-1					
工場代表者	代表取締役社長 泉 夏樹					
担当窓口	鳴門北工場					
工場の操業開始年月	2000年12月	主たる業種名（主要製品名）		プラスチック製造 （輸液用ボトルキャップ）		
工場の敷地面積	13,389 m ²	建築面積		5,453 m ²		
周囲の状況	用途地域：市街化調整区域 周辺土地利用：工業団地					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	25%	緑地以外の 環境施設	3%	合計	28%
緑地等の種別面積割合	自然型 樹群・樹林	56%	整形型 樹群・樹林	20%	単木・列状 植栽地	
	地被植物	14%	花壇		その他	
	緑地合計	90%	緑地以外の 環境施設	10%	緑地等の 総面積	3,733 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界 沿い	25%	作業棟周辺	3%	その他	

カンケンテクノ株式会社 熊本工場



緑化概要

カンケンテクノ株式会社 熊本工場は、緑豊かな自然に恵まれた地域に立地しており周辺の竹林や山林など自然環境との調和を重視し、ケヤキやソヨゴなど由来種を中心に植栽した工場緑化を推進すると共に、太陽光発電システムの導入や循環水の活用などカーボンニュートラルの実現と地域に根ざしながら、地域活性化・強靱化を目指す工場である。（写真：自然と調和した緑に囲まれた工場）

工場所在地	〒865-0014 熊本県玉名市安楽寺1244-1					
工場代表者	代表取締役社長 今村 浩一					
担当窓口	生産本部					
工場の操業開始年月	2023年10月		主たる業種名（主要製品名）		業務用機械器具製造業（除害装置）	
工場の敷地面積	10,042 m ²		建築面積		1,490 m ²	
周囲の状況	用途地域：その他(指定なし) 周辺土地利用：商・住・工・農の混在地区					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	22%	緑地以外の環境施設	4%	合計	26%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林		整形型樹群・樹林	10%	単木・列状植栽地	
	地被植物	90%	花壇		その他	
	緑地合計	85%	緑地以外の環境施設	15%	緑地等の総面積	2,640 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	24%	作業棟周辺	2%	その他	1%

株式会社九州フセラシ



緑化概要

株式会社九州フセラシは、世界農業遺産を構成する農業用ため池や広大な農地を有する大分県宇佐市の豊かな自然に囲まれており、1973年の操業開始当初から自然環境に調和した工場を目指している。敷地の周囲を木々で囲むとともに、敷地内道路や空閑地には市花である「ツツジ」をはじめとした低木や芝等を植栽し、あずまやを設置するなどして憩いの場をつくっている。（写真：株式会社九州フセラシ全景）

工場所在地	〒872-0023 大分県宇佐市大字蜷木788					
工場代表者	取締役執行役員 工場長 若林 博之					
担当窓口	総務課					
工場の操業開始年月	1973年3月	主たる業種名（主要製品名）		金属製品製造業 （精密ナット、パーツ類）		
工場の敷地面積	82,688 m ²	建築面積		30,031 m ²		
周囲の状況	用途地域：その他(用途指定無し) 周辺土地利用：工場地区、原野					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	26%	緑地以外の 環境施設	9%	合計	35%
緑地等の種別面積割合	自然型 樹群・樹林	19%	整形型 樹群・樹林		単木・列状 植栽地	16%
	地被植物	39%	花壇		その他	
	緑地合計	73%	緑地以外の 環境施設	27%	緑地等の 総面積	29,295 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界 沿い	29%	作業棟周辺	9%	その他	62%

ニデックマシンツール株式会社



緑化概要

ニデックマシンツール株式会社は敷地面積の44%を占める広大な緑地にて、在来種を中心とした生態系保全に努めている。四季の景観は従業員の健康に寄与し、社員有志による「草刈りイベント」を通じ主体的な緑化を推進。沿道のツツジ植栽をはじめ地域景観への配慮を行い、緑豊かな環境を守り育てることで、近隣住民の皆様へ安らぎを提供し続ける企業を目指している。（写真：駐車場から望む冬枯れの桜並木道）

工場所在地	〒520-3080 滋賀県栗東市六地藏 1 3 0 番地					
工場代表者	代表取締役社長執行役員 二井谷 春彦					
担当窓口	総務部総務グループ					
工場の操業開始年月	1983年11月	主たる業種名（主要製品名）		はん用機械器具製造業（工作機械及び周辺装置）		
工場の敷地面積	327,005 m ²	建築面積		70,696 m ²		
周囲の状況	用途地域：工業専用地域、工業地域 周辺土地利用：森林・林地、その他(パイパス)					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	44%	緑地以外の環境施設	4%	合計	47%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	79%	整形型樹群・樹林	13%	単木・列状植栽地	
	地被植物	1%未満	花壇		その他	
	緑地合計	93%	緑地以外の環境施設	8%	緑地等の総面積	154,676 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	44%	作業棟周辺	3%	その他	1%未満